

『王貞治氏、球都桐生プロジェクトを視察へ』

令和 7 年 8 月 26 日（火）、一般財団法人球心会 代表・王貞治氏が、群馬県桐生市を訪問されることが決定いたしました。

桐生市では現在、野球のまちとしての歴史的価値と文化的資産を未来へ継承すべく、「球都桐生プロジェクト」を行政・民間・市民が一体となって推進しています。その取り組みが、球心会の理念と合致したことにより、今回の来訪が実現しました。

■ 球心会とは

王氏が令和 7 年 6 月に立ち上げた「球心会」は、プロ・アマ問わずあらゆる野球団体・人材と連携しながら、野球の未来を切り拓くことを目的とした団体です。

王氏は設立時のメッセージを次のように述べています。

「野球界は現状維持にとどまっていはいけない。変化する世の中に対応し、長嶋さんや大谷選手のようなヒーローが何人も生まれる基盤をつくらねばならない。」

「今が最後のチャンス。50 年後、100 年後にも子どもたちに夢を与える野球であり続けるために、互いに手を取り合い、今動き出そう。」

■ 球都桐生プロジェクトについて

桐生市では、明治・大正期から野球が盛んであり、戦後は全国大会優勝校やプロ野球選手を多数輩出するなど、“野球のまち”として知られるようになりました。戦後初のプロ野球復活試合「東西対抗」が行われた桐生新川球場（現・新川公園）は、野球伝来 150 年記念で制定された「日本野球聖地・名所 150 選」にも選定されています。

しかし近年は、人口減少や少子化の影響により、にぎわいや文化継承に課題が生じています。こうした状況を踏まえ、桐生市では令和 4 年から、野球やスポーツを軸に「まちを再編集」するプロジェクトとして「球都桐生プロジェクト」を立ち上げ、推進しています。

■ 視察の目的と意義

王氏は今回の視察において、球都桐生ウィーク 2025 の視察に加え、市内の野球関連施設、球都桐生が推進している球都桐生野球ラボ、球都桐生歴史館や、デジタル技術を活用した取り組みなどをご覧になる予定です。

それらを通じて、地方都市が持つ可能性や、次世代の子どもたちが夢を描ける環境づくりの実践例を探り、球心会の理念と具体的な取組をつなぐヒントを得ていただく機会となります。

■ 桐生市荒木市長コメント

「王さんが語る“野球界に熱く新しい風が吹くように”という想いに深く共鳴しています。野球というスポーツを通じて、人が育ち、地域が変わる。今回の王さんのご来訪は、桐生にとってまさに“歴史的な一日”であり、このまちのすべての人たちへのご褒美のような時間です。王さんにしっかりと私たちの挑戦を見届けていただき、そして未来へ向けたさらなる一歩にしたいと思います。」

本視察は、王貞治氏の掲げる“BEYOND OH! PROJECT”の理念と、桐生市が描く「未来の球都」の実践をつなぐ重要な契機となるものです。野球関係者、そして地域づくりに携わるすべての皆様の注目すべき機会として、ぜひご取材・ご報道いただけますようお願い申し上げます。

※訪問先情報の詳細については、スケジュール確定後、取材を希望される報道機関に個別でご案内させていただきます。取材に対するお問い合わせは下記までお願いします。

＜取材に関するお問い合わせ＞

球都桐生プロジェクト推進協議会事務局

(株)ノッティングヒル 0277-32-4032（担当：荒木・武）



【お問い合わせ先】

スポーツ・文化振興課

球都桐生プロジェクト推進担当 尾池、小倉

TEL 0277-32-3896